



健康寿命を延ばす健康づくり施策 —静岡県の取組—

静岡県健康福祉部健康増進課 島村通子

2

本日の内容

1. 国の栄養施策
2. 健康寿命と健康課題
3. 健康増進計画の推進
4. 主な取組

厚生労働省健康局資料

栄養施策の方向性 ～活力ある持続可能な社会の実現のために～

- 栄養は、人が生涯を通じてよく生きるための基盤であり、**活力ある持続可能な社会を実現する上での必要要素**。
- 日本は、経済発展に先立ち、日本の栄養政策の重要な要素である「**食事」「人材」「エビデンス**」を組み合わせた**栄養政策を始動**。各時代の栄養課題に合わせて発展させ、それと同じくして経済成長を遂げ、**世界一の長寿国**に。
- さらに、乳幼児期から高齢期までのライフコースを通じた栄養対策と並行して、傷病者や被災者等を対象とした対策を通じて、**「誰一人取り残さない」栄養政策を推進**。
※ 上記の観点から、施策紹介資料において、主な対象者層を図示化（右図参照）。
- こうした中、令和3年12月に**東京栄養サミット2021**が日本政府主催により、東京都内で開催。本サミットの**日本政府コミットメント（誓約）**においては、**産学官等連携による健康的で持続可能な食環境づくりを含め、日本の栄養政策を一層推進する旨を表明**。
- こうした取組を含め、広範かつ困難な課題に対応するには、**様々な関係者と連携**しながら、着実に施策を推進し、成果を得ていくことが必要。



2-1

厚生労働省健康局資料

令和5年度の栄養対策予算案について

※（ ）内は、令和4年度予算額

1. 健康的で持続可能な食環境づくりの推進

- 活力ある持続可能な社会の実現に資する栄養・食生活の推進事業 <予算：55百万円（55百万円）>
- 「健康的な食環境づくり」推進事業 <予算：5百万円（5百万円）>

2. 科学的根拠に基づく基準等の整備・普及

- 国民健康・栄養調査の実施 <予算：221百万円（218百万円）>
- 健康日本21（第二次）分析評価事業の実施 <予算：38百万円（38百万円）>。
委託先：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
- 食事摂取基準等の策定 <予算：30百万円（10百万円）>

3. 管理栄養士等の養成・育成

- 実践領域での高度な人材育成の支援 <予算：10百万円（10百万円）>、委託先：公益社団法人日本栄養士会
- 管理栄養士国家試験の運営、管理栄養士等の資質確保 <予算：60百万円（59百万円）>
- 特殊な調理に対応できる調理師研修事業 <予算：23百万円（30百万円）>、補助先：公益社団法人調理技術技能センター
- （参考）令和4年度二次補正予算
- 管理栄養士等資格のデジタル化に向けた検討 <予算：80百万円>

4. 地域における栄養指導の充実

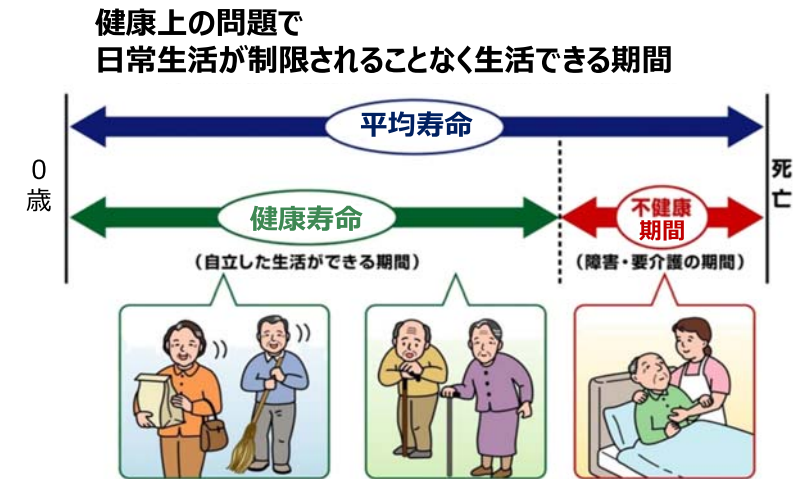
- 栄養ケア活動支援整備事業の実施 <予算：20百万円（20百万円）> 補助先：民間団体（公募）
- 糖尿病予防戦略事業の実施 <予算：37百万円（37百万円）>、補助先：都道府県等

2-2

本日の内容

1. 国の栄養施策
2. 健康寿命と健康課題
3. 健康増進計画の推進
4. 主な取組

「健康寿命」の考え方



静岡県の「健康寿命」

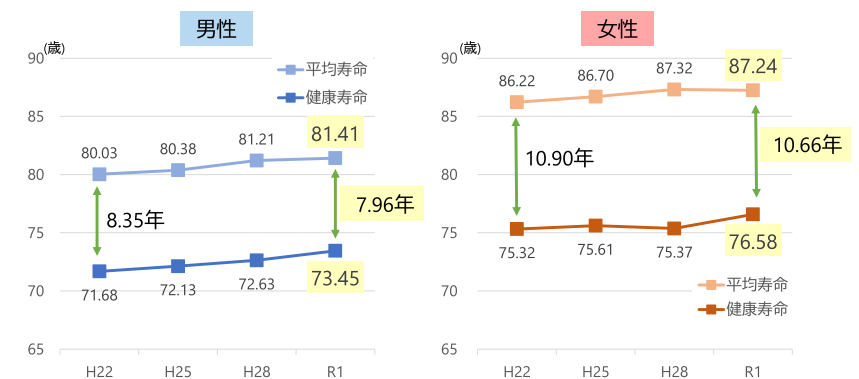
- 静岡県の健康寿命は全国に比べ長く、男性73.45年（5位）、女性76.58年（5位）
- 男女計は、2010年は全国1位。

	H22 (2010)年		H25(2013)年		H28(2016)年		R1(2019)年	
	静岡県	全国	静岡県	全国	静岡県	全国	静岡県	全国
男性	71.68 (2位)	70.42	72.13 (3位)	71.19	72.63 (6位)	72.14	73.45 (5位)	72.68
女性	75.32 (1位)	73.62	75.61 (2位)	74.21	75.37 (13位)	74.79	76.58 (5位)	75.38
男女計 (本県算出)	73.53 (1位)	72.13	73.90 (2位)	72.74	74.02 (6位)	73.50	75.04 (5位)	74.07
公表時期	H24.6		H27.12		H30.3		R3.12	

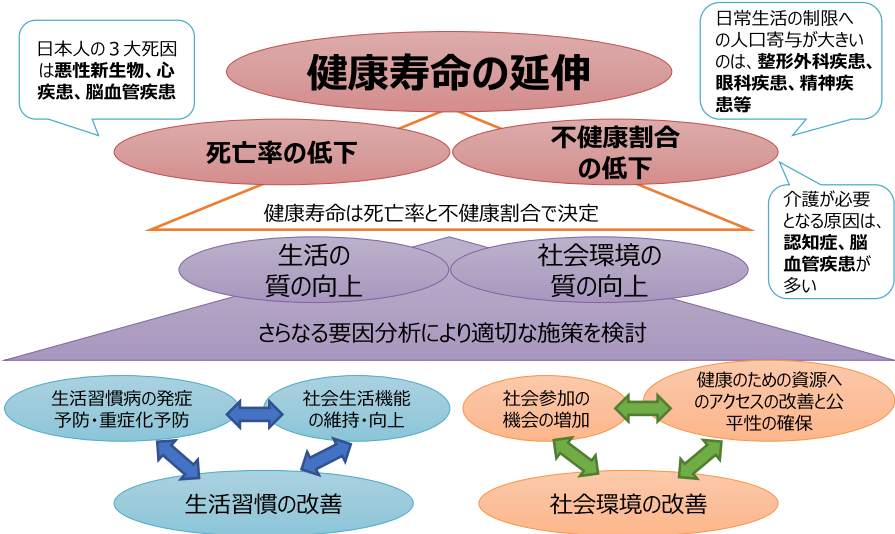
前回との比較
男性+0.82年
女性+1.21年
計+1.02年

健康寿命と平均寿命の推移

- 平均寿命、健康寿命のいずれも延伸傾向。
- 平均寿命と健康寿命の差は、短縮傾向。

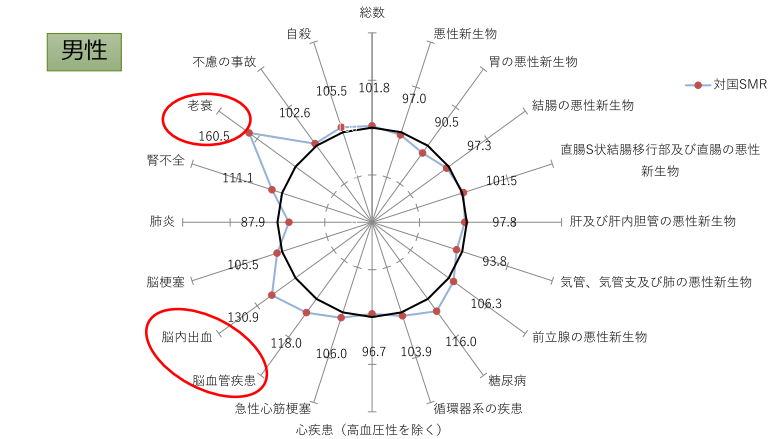


健康寿命延伸のための体制



標準化死亡比（SMR）（H28-R2）

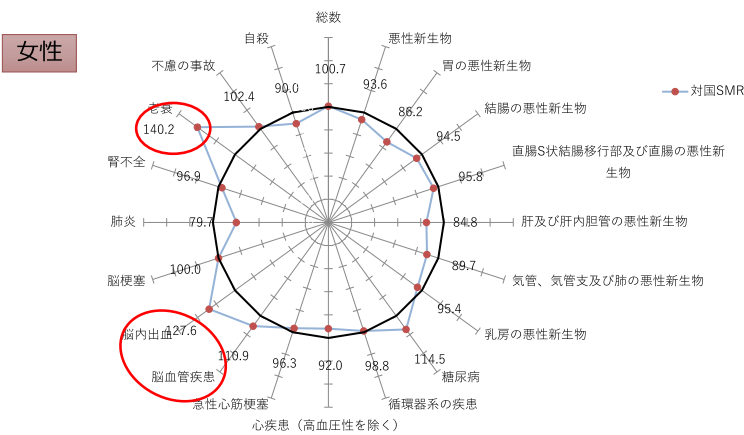
静岡県の男性は、脳血管疾患（脳内出血）、老衰のSMRが高い。



SMRは、人口構成の違いを除去し、ある基準となる集団の死亡率を100とし、比較する対象の死亡率がどの程度の大きさであるかを示したものである。集団間の比較に用いる。100より大きいときは対象の死亡状況が基準集団より悪いことを意味する。

標準化死亡比（SMR）（H28-R2）

静岡県の女性は、脳血管疾患（脳内出血）、老衰のSMRが高い。



メタボリックシンドローム該当者割合の推移

平成25年度			平成28年度			平成30年度			令和3年度		
順位	都道府県	該当者%	順位	都道府県	該当者%	順位	都道府県	該当者%	順位	都道府県	該当者%
1	静岡県	12.67	1	岐阜県	13.30	1	静岡県	13.97	1	京都府	15.09
2	岐阜県	12.89	2	静岡県	13.36	2	東京都	14.21	2	東京都	15.12
3	山梨県	12.99	3	東京都	13.62	3	京都府	14.37	3	岐阜県	15.26
4	長野県	13.21	4	京都府	13.71	4	岐阜県	14.38	4	静岡県	15.27
5	佐賀県	13.31	5	鳥取県	13.81	5	神奈川県	14.50	5	新潟県	15.67
全国		13.65	全国		14.76	全国		15.49	全国		16.59

H22～H25は第1位

H26～H29は第2位

H30～R2は再び第1位

厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03092.html

R 2 特定健診：メタボリックシンドローム該当者

男性は県東部と静岡市で
メタボリックシンドローム該当者が多い

男 性

女 性



《標準化該当比》

死亡率、リスク因子(血糖や血圧等)や医療費等は、**高齢なほど高くなる**ため、地域間の比較や経時的な推移をモニタリングする際に**年齢を調整して**指標を算出する。
高齢の人が多い地域や高齢の人が多く受診した年があっても標準化される。

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

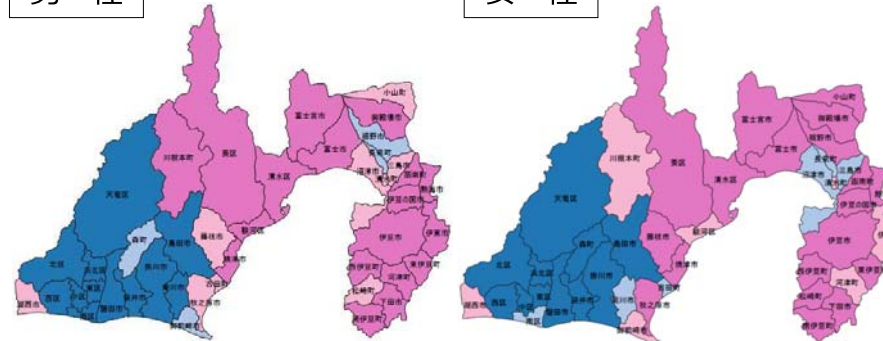
13

R 2 特定健診：高血圧症有病者

県東部と県中部で高血圧症有病者が多い

男 性

女 性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

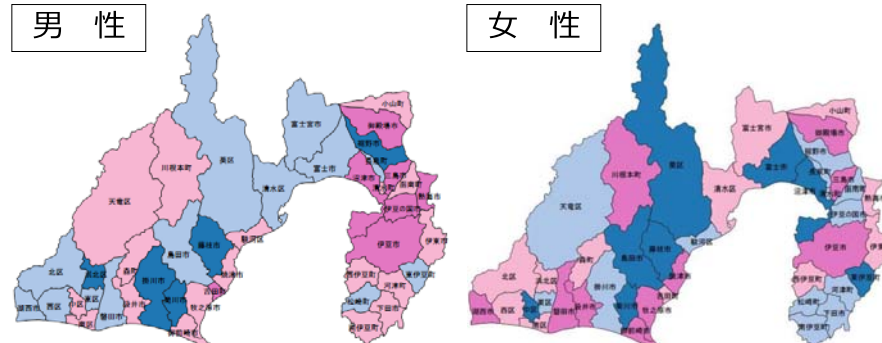
14

R 2 特定健診：糖尿病有病者

男性は県東部で、女性は県東部と県西部で
糖尿病有病者が多い

男 性

女 性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

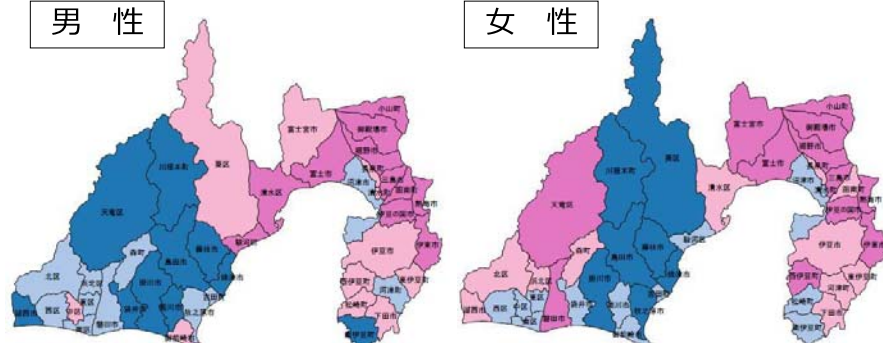
15

R 2 特定健診：脂質異常症有病者

県東部と県中部で脂質異常症有病者が多い

男 性

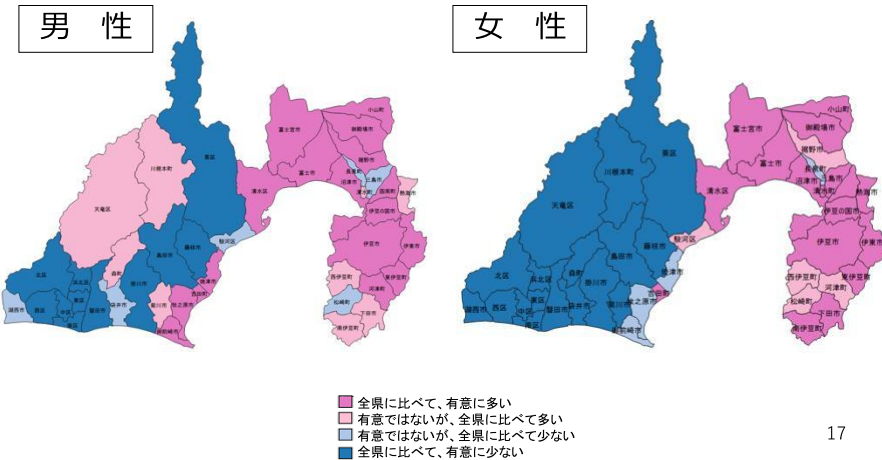
女 性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

16

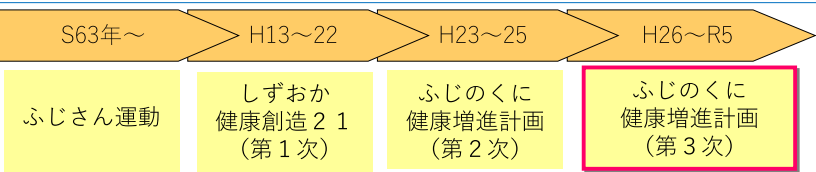
県東部で習慣的喫煙者が多い



17

1. 国の栄養施策
2. 健康寿命と健康課題
3. 健康増進計画の推進
4. 主な取組

1
9 静岡県の健康づくり計画



- 領域別に進める健康づくり
食育、運動身体活動、休養・こころ、たばこ・アルコール・薬物、歯科保健
- 地域別の健康課題解決と特長を生かした健康づくり
県 健康福祉センター「賀茂、熱海、東部、御殿場、富士、中部、西部」が管轄する市町を7地域として位置づけ健康づくりを推進

健康増進計画

	国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針(健康日本21(第二次))	第3次ふじのくに健康増進計画	主な関連計画 (ふじのくに健康増進計画等との調和に配慮して策定)		市 町 健康増進計画等
		後期 アクション プラン	第2次静岡県 歯科保健計画	第3次静岡県 食育推進計画	
主体	国	県			市町
根拠	健康増進法	健康増進法	歯科口腔保健推進法 静岡県民の歯や口の健康づくり条例	食育基本法	健康増進法
主な内容	・基本的な方向 ・目標 ・県計画の策定に関する基本的な事項 ・連携及び協力に関する基本的な事項 ・食生活、運動、休養、飲酒、喫煙、歯の健康保持等に関する事項	・基本的な考え方 ・健康の現状(健康課題) ・方針・戦略 - i 健康寿命の延伸を目指す健康づくり - ii 地域の場の力を活用した健康づくり - iii 領域別に進める健康づくり - iv 地域別の健康課題解決と特長を生かした健康づくり ・推進体制・進捗管理 ・数値目標	・基本的な考え方 ・現状と課題、取組の方向 ・方針・戦略 ・推進体制 ・目標	・基本的な考え方 ・現状と課題、取組の方向 ・方針・戦略 ・推進体制 ・目標	【例】袋井市 ・策定にあたって ・今後の取組に向けて ・基本的な考え方 ・施策の展開 ・計画の推進 市町食育計画策定 35市町 市町歯科保健計画 21市町
計画等 期間	H25～R5	H26～R5 ※後期AP H30～R5	H25～R5	H25～R5	

20

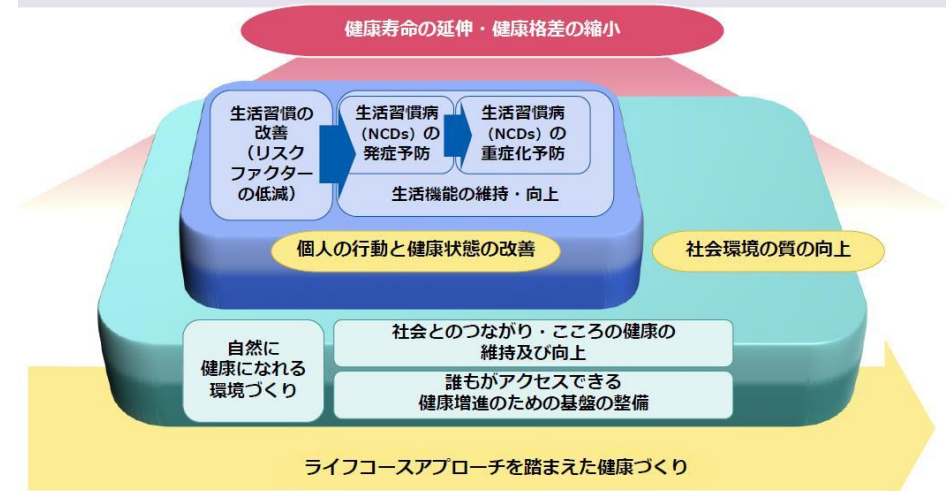
計画期間

	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
健康日本21 (国基本方針)	第2次	第3次（12年）												第4次
ふじのくに 健康増進計画	第3次	第4次（基本計画 12年）												第5次
		アクションプラン						アクションプラン						
		歯科保健計画・食育推進計画と同時に策定												
静岡県 保健医療計画	第8次	第9次						第10次						第11次
ふじのくに 長寿社会安心 プラン	第9次	第10次	第11次		第12次		第13次		第14次					
総合計画	現 総合計画													
	現 アクションプラン													

21

健康日本21(第三次)の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



5

資料：令和5年5月17日「次期国民健康づくり運動プランに係る自治体説明会」より

2 3 本日の内容

1. 国の栄養施策
2. 健康寿命と健康課題
3. 健康増進計画の推進
4. 主な取組
 - 野菜マシマシプロジェクト
 - しずおか健幸惣菜の普及による食環境向上事業
 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
 - 災害時の栄養・食生活支援

ふじのくに健康長寿プロジェクト

○ 健康寿命日本一に向けたふじのくにの挑戦「ふじのくに健康長寿プロジェクト」

①健康長寿の研究

特定健診データを分析し、結果を市町別、医療保険者別、市町地区別にマップ化。市町別地域別保健活動等に活用

②重症化予防対策

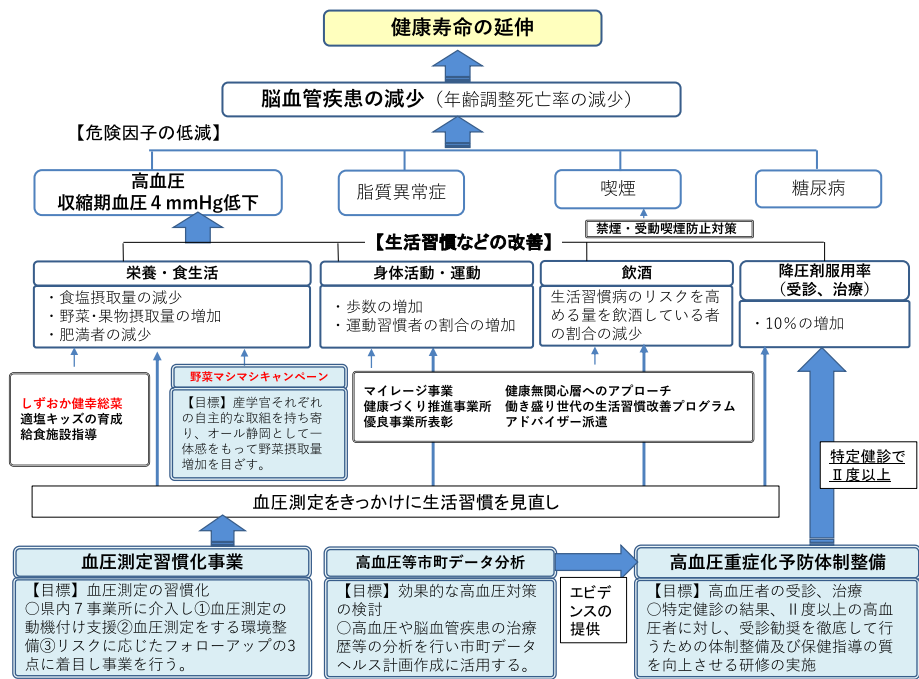
重症化予防体制整備
重症化予防指導者養成研修

③企業との連携

健康づくり優良企業の表彰
健康づくり推進事業所宣言の展開
健康づくりアドバイザー派遣

④健康マイレージ事業

健康づくりメニューの実践で一定のポイントを貯めた住民が協力店で特典を受ける「健康マイレージ制度」を実施する市町を支援



静岡県民の野菜摂取は・・・

○食塩摂取量（1日あたり）

◆静岡県民は、食塩を摂り過ぎです！

	男 性	女 性
静岡県 (H28県民健康基礎調査)	10.6g	9.2g
国目標量	7.5g未満	6.5g未満

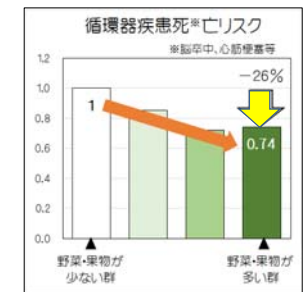
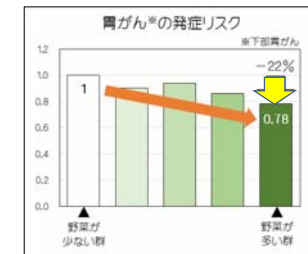
○野菜摂取量（1日あたり）

◆静岡県民の野菜摂取量は、目標量の350gに足りていません！



(データ)出典
参考：国立がん研究センター
Shimazu T et al. Ann Oncol. 2014;25:1228-1233
参考：NIPPON DATA80
Okuda N et al. Eur J Clin Nutr. 2015 Apr;69(4):482-488

◆野菜の摂取量が多い人は、病気のリスクがダウン！



4

野菜マシマシプロジェクト

野菜マシマシチームで試食中



野菜マシマシ餃子（イメージ）



3月から期間限定販売
静岡市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、
長泉町の自動販売機
沼津市、富士宮市の無人販売所

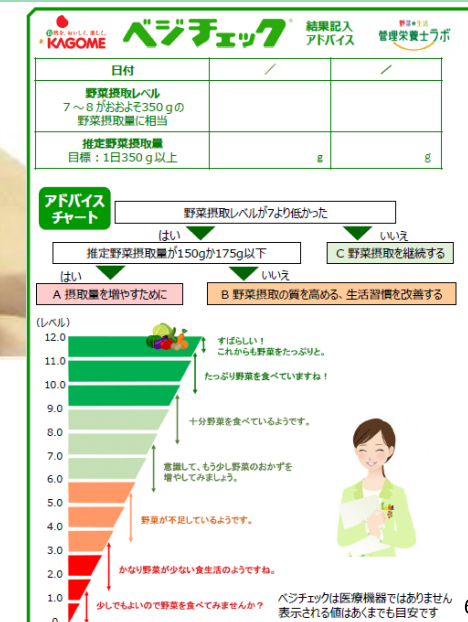


5

野菜摂取量を見える化（ベジチェック）



内容（案）	時 期
・健康福祉部職員を測定	12月と3月を比較
・健康窓菜の提供日に東館食堂で測定会	12/15、1/19 2/16、3/16 (毎月第3木曜日)
・キュービーとのフェア期間中に測定会	12/19～23
・静鉄ストアと連携した測定会	2月（予定）



6

企業との連携



8

今年度の展開～産学官連携～

県民の野菜摂取量増加に向け、産学官がそれぞれの自主的な取組を持ち寄り、オール静岡として一体感を持って実施



9

「しずおか健幸惣菜」の普及による食環境向上事業

しずおか健幸惣菜

～働き盛り世代の健康づくりを食からサポート～



このマークが目印です。



○県庁東館16階互助会食堂
毎月第3木曜日に提供

○東部総合庁舎
3階食堂でも提供

しずおか健幸惣菜は、組み合わせることで栄養バランスのとれた食事につながる「おかず」です。

31

「しずおか健幸惣菜」の普及による食環境向上事業

「しずおか健幸惣菜」とは社員食堂、スーパーマーケットで提供できる主食と組み合わせることで、栄養バランスのとれた食事となる『おかず』のこと

	主 菜	副 菜	一皿で主菜・副菜	1食(お弁当)
エネルギー量	550kcal 未満	200kcal 未満	450～650kcal 未満	600～850kcal 未満 主食 200～350 副食 400～600
食塩相当量	2.2g 未満 (2g 未満)	1.2g 未満 (1g 未満)	3.2g 未満 (2.7g 未満)	3.3g 未満 (2.8g 未満)
野菜量 (きのこ・海藻・いも類を含む)	付け合わせ含めて 合計 50g 以上	2 種類以上 合計 70g 以上	2 種類以上 合計 120g 以上	2 種類以上 合計 120g 以上
肉・魚・卵 大豆製品量	70～150g (90～150g)	—	70～150g (90～150g)	70～150g (90～150g)

※() の範囲を推奨

「しずおか健幸惣菜」の普及による食環境向上事業

「しずおか健幸惣菜」を積極的に販売・提供する事業所や店舗等を「しずおか健幸惣菜パートナー」として登録

しずおか健幸惣菜パートナー登録数

社員食堂	58店舗
弁当惣菜	62店舗
学生食堂	2店舗
計	122店舗

R5.5.19現在

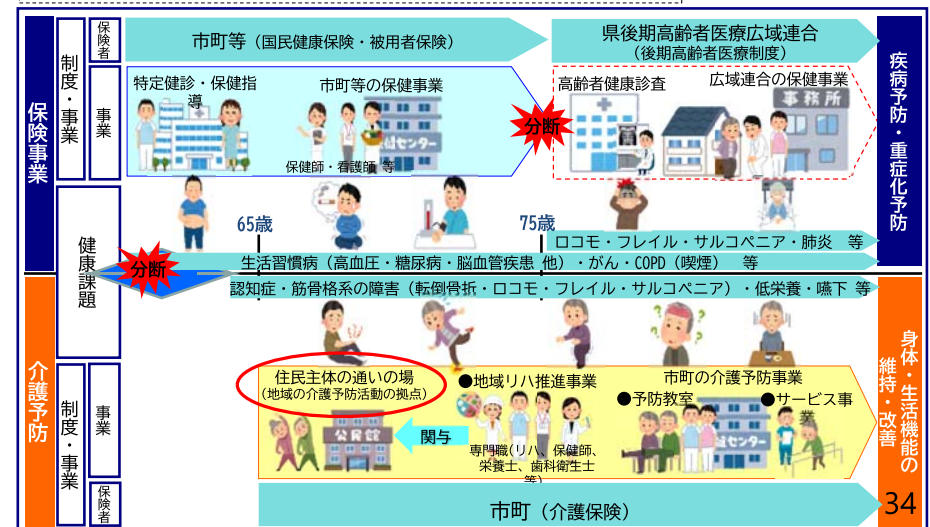
R5年は重点的に配送給食弁当業者に対し働きかけ、事業のメインターゲットである「働き盛り」の食環境向上を目指す。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

■制度的な課題

- 保険制度には医療保険(国民健康保険、後期高齢者医療制度等)と介護保険があるため、事業の実施主体が制度及び年齢に応じて異なり、各事業の連携が取れていない。
- 後期高齢者の保健事業は、県全体を対象に広域連合が実施するため、取組が薄い。

■制度改正
高齢者の保健事業と
介護予防の一体的実施



■ 通いの場

- 通いの場は4,475箇所設置。高齢者人口に対する参加率は7.6% (2020年度)
- 全国の通いの場の参加率は5.2%

圏域	市町	高齢者人口	箇所数		参加者実人数	
			計	高齢者人口 一人あたりの箇所数	計	高齢者人口 一人あたりの参加率(%)
賀茂	下田市	8,742	33	37.7	847	9.7
	東伊豆町	5,440	19	34.9	288	5.3
	河津町	2,966	7	23.6	149	5.0
	南伊豆町	3,761	18	47.9	259	6.9
	松崎町	3,031	7	23.1	76	2.5
	西伊豆町	3,796	45	118.5	803	21.2
熱海伊豆	小計	27,736	129	46.5	2,422	8.7
	熱海市	17,355	21	12.1	259	1.5
	伊東市	28,854	93	32.2	1,151	4.0
	小計	46,209	114	24.7	1,410	3.1
駿東田方	沼津市	61,107	129	21.1	1,940	3.2
	三島市	32,213	180	55.9	5,322	16.5
	裾野市	13,832	7	5.1	129	0.9
	伊豆市	12,206	70	57.3	1,197	9.8
	伊豆の国市	15,994	52	32.5	783	4.9
	函南町	11,908	34	28.6	407	3.4
	清水町	8,331	0	0.0	0	0.0
	長泉町	9,639	13	13.5	167	1.7
	御殿場市	22,053	34	15.4	460	2.1
	小山町	5,539	32	57.8	486	8.8
西部	小計	192,822	551	28.6	10,891	5.6
	富士宮市	38,601	255	66.1	4,812	12.5
	富士市	70,343	264	37.5	3,255	4.6
	小計	108,944	451	41.4	6,879	6.3
	静岡市	211,272	438	20.7	7,830	3.7
	小計	211,272	438	20.7	7,830	3.7
中東遠	島田市	30,592	275	89.9	5,426	17.7
	焼津市	41,033	166	40.5	3,224	7.9
	藤枝市	43,295	206	47.6	3,918	9.0
	牧之原市	14,072	108	76.7	2,264	16.1
	吉田町	7,505	39	52.0	1,238	16.5
	川根本町	3,185	7	22.0	127	4.0
	小計	139,682	801	57.3	16,197	11.6
	磐田市	48,155	481	99.9	10,463	21.7
	掛川市	32,221	79	24.5	1,621	5.0
	袋井市	21,485	190	88.4	3,068	14.3
西部	御前崎市	9,685	45	46.5	824	8.5
	菊川市	13,116	49	37.4	708	5.4
	森町	6,206	22	35.4	323	5.2
	小計	130,868	866	66.2	17,007	13.0
	浜松市	222,702	1,022	45.9	18,007	8.1
	湖西市	16,492	35	21.2	1,023	6.2
合計	小計	239,194	1,057	44.2	19,030	8.0
	合計	1,096,727	4,475	40.8	82,854	7.6

出展：介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）
実施状況調査

高齢者人口は、総務省の2022年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口

■ 「通いの場」で医療専門職が活動

- 県が開催した研修会を受講(R2～3:754人)した歯科衛生士、管理栄養士が、通いの場で支援
- フレイル予防のためのリーフレットを作成し、通いの場で活用



【管理栄養士による講話】



【歯科衛生士による講話】



■ 令和5年度「専門職の派遣の仕組みづくり」

令和2年度から、市町において高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業が開催されたため、市町での事業を促進するため、市町事業に協力可能な管理栄養士・歯科衛生士の指導者育成研修会を開催。研修会終了後は、本研修会を修了した管理栄養士・栄養士が、通いの場等で高齢者を支援する取組を試行的に実施し、専門職による高齢者の支援を行う仕組みづくりの構築を実施。

◎ 管理栄養士向け介護予防推進指導者育成研修（静岡県栄養士会委託事業）

目的	市町が実施する介護予防事業において、高齢者の自立支援に向けた指導助言ができる管理栄養士の指導者を育成する。
対象者	管理栄養士、市町職員、地域包括支援センター職員 等 50名程度×3箇所
日程	沼津会場 8月30日（水） プラザヴェルデ401会議室
会場	静岡会場 9月14日（木） 静岡県男女共同参画センターあざれあ第一研修室
	浜松会場 11月24日（金） Uホール23会議室
内容	講演 講師：神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科長 教授 田中和美先生 事例発表 ・管理栄養士の高齢者の個別的支援に係る取組紹介 ・行政と専門職との連携 等 グループワーク テーマ（仮）「地域の課題や求められる活動と今後、自分ができること」

37

■ 「専門職の派遣の仕組みづくり」

令和3年度から、専門職向け研修会を受講した管理栄養士・栄養士、歯科衛生士が、通いの場等で高齢者の支援を行う仕組みの運用を開始しており、本年度も引き続き実施していく。
県栄養士会の栄養ケアステーション（東部・中部・西部）で管理栄養士・栄養士を、県口腔保健支援センター（県健康増進課内）で歯科衛生士をそれぞれ派遣調整する。

◎ 管理栄養士・栄養士による派遣の仕組み



◎ 歯科衛生士による派遣の仕組み



※但し、派遣費用（報償費、旅費等）については、市町の地域支援事業等で負担

38

■ 静岡県健康づくり応援サイト「ふじのくに むすびば」

新型コロナの影響で、「通いの場」が休止になるという状況も見られたことから、県では、新たな生活様式に対応した県民の健康づくりや社会参加を推進するため、健康づくり応援サイト「ふじのくに むすびば」を開設

区分	内容
目的	新型コロナウイルスの感染拡大により顕在化した、社会活動の自粛に伴う身体・認知機能の低下を防止するため、新たな生活様式に対応した県民の健康づくりや社会参加を推進する。
開設日	令和3年12月24日
特徴	(1) 通いの場・居場所・認知症カフェ等約450か所の活動の場を分かりやすく紹介。利用者と活動団体が直接つながることができます。掲載団体も随時募集。 (2) 県内46種類のご当地体操やハイキング、ヨガ、減塩レシピなど健康づくりに役立つ動画コンテンツを発信します。 (3) ナビゲート機能やオススメ機能などにより、操作が不慣れな方にも、目的の情報に簡単にアクセスできるようサポートします。



災害時の栄養・食生活支援



静岡県と静岡県栄養士会が「災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定」を締結（令和5年3月28日）

40



食とリハビリ 災害時に支援

県が2団体と協定

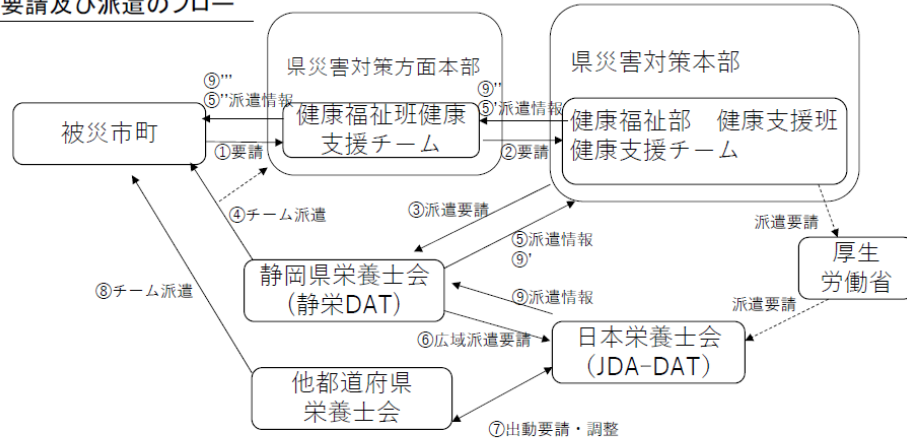
県は、県内各地で、県栄養士会と県災害リハビリテーション支援連団体協議会の2団体と災害時の支援活動に関する協定をそれぞれ結んだ。管理栄養士や医療従事者らを避難所などに派遣し、被災者の支援に当たる。栄養士会は被災者の栄養・食生活に関する相談に応じる。アレルギーのあそども用の粉ミルクや高齢者用食品などの提供をサポートする。

同協議会は避難生活の疲労や環境悪化による災害関連死が課題となる中、被災者のリハビリの必要性を認識し、心身の機能低下を防ぐための活動に取り組む。県栄養士会の新井英一会長と、同協議会の山内茂哉、高橋博通両共同代表が県庁を訪れ、川勝平太知事と協定書を交わした。川勝知事は「災害時の食生活やリハビリ支援は重要で、両団体の協力を得られるのは心強い。協定をきっかけに連携をさらに深めたい」と話した。

協定後は日本栄養士会災害支援チームの緊急災害支援車両2台を県庁前で公開した。調理器具を搭載し、大規模炊き出しに対応できない要配慮者らに食事を提供するほか、緊急時の電源供給、支援物資の輸送などを担う。東京、愛知、大分など全国に計6台を配備している。

令和5年4月6日(木) 静岡新聞(朝刊 政治しずおか面)

要請及び派遣のフロー



※ 行政栄養士の派遣はこのフローに含まれない

4
4

食生活アンケートに御協力をお願いします

下記のQRコードから日頃の食生活等について入力をしていただくと栄養バランス(とりすぎ・不足など)のチェックなどができます。

ご家族や職場の方など周りのかたにもお知らせしていただき、一人でもご協力をお願いします。

静岡県
静岡県民限定!

Webで健康リスクチェックが簡単にできる!

食生活アンケート実施中

あなたの毎日の食事や生活習慣をスマートフォンもしくはパソコンで入力すると、塩分やたんぱく質、ミネラルなどの栄養バランスやとりすぎ・不足がその場でわかります。また、今後10年のがんや循環器疾患にかかるリスクも算出するので、ご自身の健康管理にお役立てください。

対象 20～60歳の静岡県民の方 費用 無料

期間 令和5年6月30日(金)まで 好評につき延長中

この調査は、静岡県と静岡社会健康医学大学院大学が実施しており、調査結果は県や市の健康施策に活用させていただきます。

ぜひご協力ください。

※回答には15～30分程度かかります。

アンケートへはお手持ちのスマートフォン・PCで参加できます スタートページはこちら

<https://rok.rokproject.jp/nr> 静岡SPH BDHQ

【問い合わせ先】(株)サーベイリサーチセンター 054-260-5123 【実施主体】静岡社会健康医学大学院大学、静岡県

